

第284号 2011年 6月16日  
弘前大学総務部総務課

**学術講演会・研究発表会・公開講座**

計測自動制御学会 東北支部 第265回研究集会のお知らせ

1. 日 時：2011年 6月28日（火） 10：30～
2. 会 場：弘前大学 理工学部 1号館4階第8講義室
3. 交 通：JR弘前駅より徒歩：約20分、バス：約15分  
（弘前駅前3番のりば「小栗山・狐森線」または「学園町線」に乗車、  
「弘前大学前」または「弘大農学生命科学部前」下車）、タクシー：約5分

<http://www.hirosaki-u.ac.jp/access/hirosakimap/bunkyo.html>

4. プログラム：（○印は講演者、講演15分・討論5分）：

10：30～12：10

- 265-1 組み込み制御用小規模プロセッサの開発  
○松平 功介（弘前大学）、一條 健司（弘前大学）、成田 明子（弘前大学）、  
吉岡 良雄（弘前大学）
- 265-2 インタラクティブなライントレースロボットシステムの開発：  
ロボット座標の推定とフィードバック  
○藤原 大樹（弘前大学）、岩谷 靖（弘前大学）
- 265-3 夜間の赤外映像からの動体検出手法  
○小林 佳太（弘前大学）、丹波 澄雄（弘前大学）
- 265-4 無線カメラを有する小型ヘリコプタの高信頼ビジュアルサーボ：離着陸制御系の設計  
○久保田 祐樹（弘前大学）、岩谷 靖（弘前大学）
- 265-5 壁移動ロボットを用いた防犯システムの構成と評価  
○山本 祐輔（八戸工業大学）、長峰 峻（八戸工業大学）、  
小松 昭（八戸工業大学）、藤岡 与周（八戸工業大学）

13：00～14：20

- 265-6 項目反応理論を用いた習熟度の測定とWB Tへの応用  
○九島 新（八戸工業大学）、小玉 成人（八戸工業大学）
- 265-7 PID制御則を利用した立位姿勢制御能力の評価  
○後藤 博哉（弘前大学）、佐川 貢一（弘前大学）

- 265-8 センサーネットワークによる人動態の多点計測  
○安田 貴弘（弘前大学）、佐川 貢一（弘前大学）、  
久慈 憲夫（八戸工業高等専門学校）、小野 俊郎（弘前大学）
- 265-9 センサネットワークによるアロマセラピーシステムの検討  
○澤口 千紘（八戸工業高等専門学校）、久慈 憲夫（八戸工業高等専門学校）

14:35～15:55

- 265-10 フィルタバンク法による骨を伝播するガイド波の速度分散特性の評価  
○鎌田 正洋（弘前大学）、齊藤 玄敏（弘前大学）
- 265-11 干渉波キャンセラを用いた移動体通信の品質改善  
○下葶坪 孝行（八戸工業高等専門学校）、工藤 憲昌（八戸工業高等専門学校）、  
田所 嘉昭（豊橋技術科学大学）
- 265-12 方程式誤差法を用いた音響用エコーキャンセラの検討  
○福士 達也（八戸工業高等専門学校）、工藤 憲昌（八戸工業高等専門学校）、  
田所 嘉昭（豊橋技術科学大学）
- 265-13 自動採譜装置を用いた点字楽譜に関する研究  
○工藤 裕太郎（八戸工業大学）、小坂谷 壽一（八戸工業大学）

16:10～17:30

- 265-14 バックステッピング方式による電子スロットル制御のシミュレーション検討  
○三浦 昌宏（八戸工業大学）、林 寛（八戸工業大学）、栗原 伸夫（八戸工業大学）
- 265-15 慣性と摩擦を利用した回転機構の開発  
○葛西 昭治（弘前大学）、福田 眞（弘前大学）
- 265-16 マスタ・スレーブ機構のための柔軟物検出と柔軟さ提示  
○鈴木 佑太（弘前大学）、福田 眞（弘前大学）
- 265-17 顕微鏡下マイクロマニピュレーションのための球面関節機構の開発  
○油川 駿（弘前大学）、福田 眞（弘前大学）、岩谷 靖（弘前大学）

※セッション終了後、懇談会を予定しております。

**問い合わせ先：** 弘前大学理工学部知能機械工学科 佐川 貢一  
電 話：0172-39-3691  
E-mail：[sagawa@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:sagawa@cc.hirosaki-u.ac.jp)

**平成23年度 弘前大学保健学研究科 学部公開授業のお知らせ**

弘前大学保健学研究科のFD委員会では、平成23年度の学部公開授業を下記の日程で企画しましたのでご案内いたします。多数のご参観をお待ちしております。

1. 日 時：2011年 7月 1日（金） 8：40～10：10
2. 内 容：学生によるグループ発表（心電図一虚血性心疾患）  
「臨床生理学」 武尾 照子 准教授

3. 場 所：弘前大学保健学研究科 第21講義室（新棟5階）

4. 対象学生：検査技術科学専攻2年

1. 日 時：2011年 7月 4日（月） 10:20～11:50

2. 内 容：泌尿器系一血中の老排泄物を排泄  
「人体形態学」 祐川 幸一 准教授

3. 場 所：弘前大学保健学研究科 第24講義室（新棟6階）

4. 対象学生：放射線技術科学専攻1年・検査技術科学専攻1年

問い合わせ先：弘前大学保健学研究科 FD委員会 石戸 俊雄  
電 話：0172-39-5956  
E-mail：[toshio@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:toshio@cc.hirosaki-u.ac.jp)

日本農芸化学会東北支部シンポジウム  
「地域を元気にする農芸化学：地域食材の機能性研究」開催のお知らせ

1. 日 時：2011年 7月 9日（土） 13:20～17:05

2. 主 催：日本農芸化学会東北支部

3. 共 催：ひろさき産学官連携フォーラム 食品生理機能研究会

4. 場 所：弘前大学農学生命科学部 402講義室

5. 参加費：無 料

6. プログラム：

13:20～13:30 開会の挨拶  
日本農芸化学会東北支部支部長 桑原 重文  
（東北大学大学院農学研究科教授）

13:30～14:00  
「果実の機能性：ポリフェノールとセラミドの生理活性」  
長田 恭一（明治大学農学部准教授）

14:00～14:30  
「ソバとヤマブドウ抽出物の抗糖尿病作用」  
長澤 孝志（岩手大学農学部教授）

14:30～15:00  
「水産物の機能性：オメガ3多価不飽和脂肪酸について」  
宮下 和夫（北海道大学大学院水産科学研究院教授）

15:15～15:45 「プロバイオティクスと高機能性ヨーグルト」  
齋藤 忠夫（東北大学大学院農学研究科教授）

The poster is titled "日本農芸化学会東北支部シンポジウム" (Symposium of the Tohoku Branch of the Japanese Society of Agricultural Chemistry) and "地域を元気にする農芸化学：地域食材の機能性研究" (Regional Revitalization through Agricultural Chemistry: Functional Research on Regional Foodstuffs). It features a green background with a map of Tohoku. The text includes the date (July 9, 2011), location (Hirotsugu Hall, Faculty of Agriculture, Hirosaki University), and a detailed program schedule. The schedule lists speakers and their topics, such as "果実の機能性" (Fruit functionality) by Masahiro Nagata and "水産物の機能性" (Seafood functionality) by Kazuo Miyashita. The poster also mentions that the event is free of charge and provides contact information for the organizing committee.

15:45～16:15 「牛乳タンパク質とその消化により生じるペプチドの免疫調節機能の特性付けと利用性」

大谷 元 (信州大学大学院農学研究科教授)

16:15～17:00 パネルディスカッション

座長 片方 陽太郎 (弘前大学農学生命科学部教授)

17:00～17:05 閉会の挨拶

世話人 戸羽 隆宏

17:15～18:15 交流会 (会費 1,000円)

**問い合わせ先:** 弘前大学農学生命科学部 生物資源学科 戸羽 隆宏、前多 隼人  
電話: 0172-39-3786 (戸羽)  
0172-39-3790 (前多)  
E-mail: [ttakki@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:ttakki@cc.hirosaki-u.ac.jp) (戸羽)  
[hayatosp@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:hayatosp@cc.hirosaki-u.ac.jp) (前多)

「酸化チタンを用いた新しい含フッ素有機化合物の合成」講演会開催のお知らせ

1. 日時: 2011年 7月11日 (月) 13:30～15:00

2. 場所: 弘前大学理工学研究科1号館2階大会議室

3. 講師: 国立大学法人島根大学 医学部 吉田 正人 教授

4. 演題: 有機フッ素化合物合成を目指した新しい酸化-還元系の構築

5. 講演要旨: 一般の有機合成の著しい進展に比べ、含フッ素有機分子の効率的な合成法の開発はまだ十分ではなく、限られた出発物質の多様な活性化とそれを活用した合成法の開発が求められているところである。本講演では、演者等が含フッ素有機分子の効率的な合成法の開発の一環としてこれまで行ってきた、”ヨウ化フルオロアルキルの一電子還元によるフルオロアルキルラジカルの生成、このラジカルのアルケンやアレーン類への付加とそれに引き続く酸化反応による更なる変換”の3段階のプロセスを基盤とした新しい酸化-還元系の構築に関する研究を紹介する。

**問い合わせ先:** 弘前大学理工学研究科 澤田 英夫  
電話: 0172-39-3578  
E-mail: [hideosaw@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:hideosaw@cc.hirosaki-u.ac.jp)

弘前大学「つがるネッサンス! 地域でつなぐ女性人才」講演会 (再掲)  
「日米の教育研究制度の比較と女性研究者の役割～医学生物学を中心に～」開催のお知らせ

弘前大学男女共同参画推進室では、女性研究者研究活動支援事業 (女性研究者支援モデル育成) として、ノースウェスタン大学の檜橋敏夫教授をお招きし、第3回講演会を下記のとおり開催します。性別にかかわらず、意欲のある学生が力をつけ、キャリアを積み、研究者として活躍するには? 日本の大学が抱える課題と求められる解決策は? 日米の教育研究制度の違いや、豊富なご自身の経験など、世界の第一線で活躍を続けておられる檜橋先生のお話からは、未来に向けた多くのヒントを得られることでしょう。

研究者を目指している人、留学を考えている人、視野を広げたい人・・・気軽にお話をうかがえるようにディスカッションの時間も設けます。直接お話できるまたとないチャンスです。お気軽にご参加ください。

1. 日 時：2011年 6月17日（金） 13:30～15:00
2. 会 場：弘前大学創立60周年記念会館「コラボ弘大」8階「八甲田ホール」
3. 参加費：無 料
4. 講 演：日米の教育研究制度の比較と女性研究者の役割  
～医学生物学を中心に～
5. 講 師：ノースウェスタン大学  
医学部分子薬理学生物化学科  
農学博士 檜橋 敏夫 教授

＜講師プロフィール＞

昭和23年東京大学農学部獣医学科卒業。東大教員を経た後、教育研究活動の場をアメリカに移して約50年。東大で始めた殺虫剤作用機構研究はライフワークとなっている。また、フグ毒のナトリウムチャンネル阻害作用の発見は、その後のチャンネル研究の端緒として一世を風靡した。イオンチャンネル薬理学の第一人者であり、多くの賞を受賞している。現在もなお、第一線で活躍中であり、日本からの研究者も含め数多くの優秀な研究者を育てている。著書・論文約500。



**問い合わせ先：** 弘前大学男女共同参画推進室  
 電 話：0172-39-3888  
 F A X：0172-39-3889  
 E-mail：[equality@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:equality@cc.hirosaki-u.ac.jp)  
 U R L：<http://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/equality/>

「つがるネッサンス！地域でつなぐ女性人才」ウェブサイト  
 U R L：<http://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/tsuga-ru/>

**ひろさき産学官連携フォーラム 平成23年度基調講演会開催のお知らせ（再掲）**

『ひろさき産学官連携フォーラム』は、弘前地域における産学官の交流・連携を促進し、新商品・新産業の創出により地域産業の発展を図ることを目的としています。

弘前市商工労政課と弘前大学地域共同研究センターが共同で事務局を運営し、企業活動や研究活動の参考になるような講演会・セミナーを定期的で開催し、会員の知見、技術の向上と会員相互のネットワークの構築を図り、調査研究開発を促しています。

この度、ひろさき産学官連携フォーラム平成23年度基調講演会を下記により開催いたしますので、ご案内申し上げます。

1. 日 時：2011年 6月29日（水） 15:40～
2. 会 場：ベストウェスタンホテルニューシティ弘前 3階「エメラルドの間」
3. 内 容：講演会 15:40～17:20

演 題 「地域の食・農ビジネスについて」

講 師 株式会社キースタッフ 代表取締役 鳥巢 研二 氏

<講演概要>

地域の農産物を活用した加工特産品の開発・販売の秘訣から地域の食・農ビジネスの今後の展望についてお話し頂きます。

<交流会> 17:30~19:00

※会場：12階「スカイバンケット」

会費：3,000円（当日会場にて申し受けます。）

講演会のみ参加は無料となっております（事前登録制）

詳細：<http://www1.cjr.hirosaki-u.ac.jp/sinchaku/23/soukai23/23soukai.html>

※上記アドレスより申込用紙をダウンロードの上、6月24日（金）までにお申し込み下さい。

**問い合わせ先：** ひろさき産学官連携フォーラム事務局  
弘前市商工労政課仕事おこし・雇用支援室（担当：今）  
電話：0172-32-8106  
FAX：0172-35-1105  
E-mail：[tak2-kon@city.hirosaki.lg.jp](mailto:tak2-kon@city.hirosaki.lg.jp)

弘前大学地域共同研究センター（担当：神山）  
電話：0172-39-3990  
FAX：0172-36-2105  
E-mail：[hiro-cjr@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:hiro-cjr@cc.hirosaki-u.ac.jp)

## 学 内 掲 示 板

### 弘前大学出版会から出版のための企画募集

弘前大学出版会から著書の出版を希望される方は弘前大学出版会にご相談ください。出版企画提案書の書式を添付ファイルでお送りいたしますので、ご記入の上、ご返送ください。詳細についてはご連絡いただいた折に、ご説明いたします。

**問い合わせ先：** 弘前大学出版会（附属図書館内）  
電話：0172-39-3168  
FAX：0172-39-3171  
E-mail：[hupress@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:hupress@cc.hirosaki-u.ac.jp)

### 国立大学協会情報誌「JANU」「JANU別冊」について

本学会が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「JANU」「JANU別冊」を作成しています。下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧いただけます。

[http://www.janu.jp/active/7janu\\_quarterty\\_report.html](http://www.janu.jp/active/7janu_quarterty_report.html)

編集担当から）講演会、研究発表会、部局行事等の掲載原稿を発行予定日（毎月1日と16日の2回）の7日程度前までに、下記のところまでご提供ください。お待ちしております。

◎担当：総務部総務課広報・支援グループ

E-mail：[jm3012@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:jm3012@cc.hirosaki-u.ac.jp)、Fax:37-6594、内線：3012